

第9回

中学生、高校生、大学生のための  
株式学習コンテスト

日経 **STOCKリーグ**

## 募 集 要 項

学校における経済教育の一環として、  
インターネットを活用して、  
株式投資をシミュレーション学習する

**最優秀チームを米国研修旅行にご招待**

**学習教材は無料提供いたします**

【参加チーム募集】

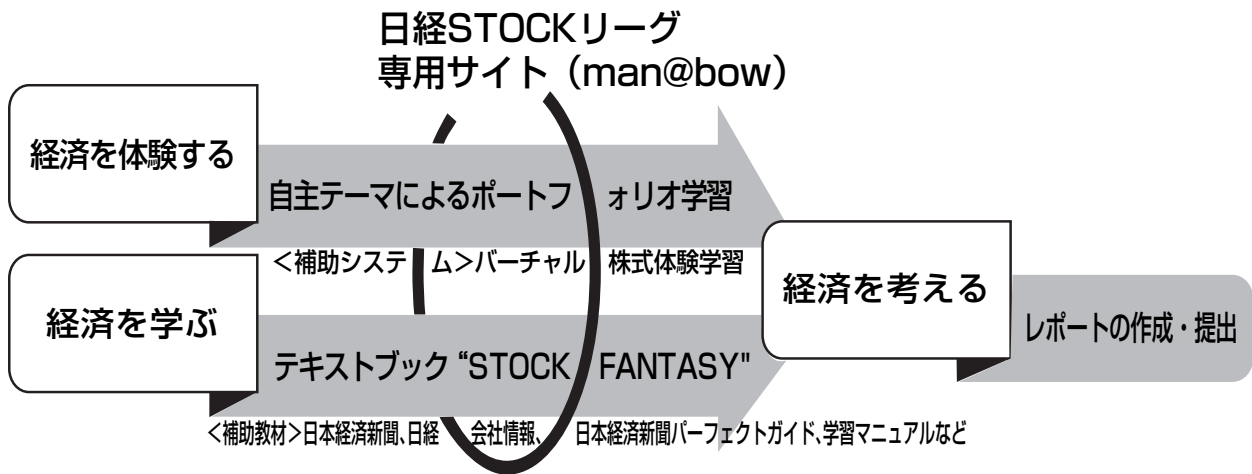
**第1次締切 2008年6月30日(月)**

第2次締切 2008年9月6日(土)

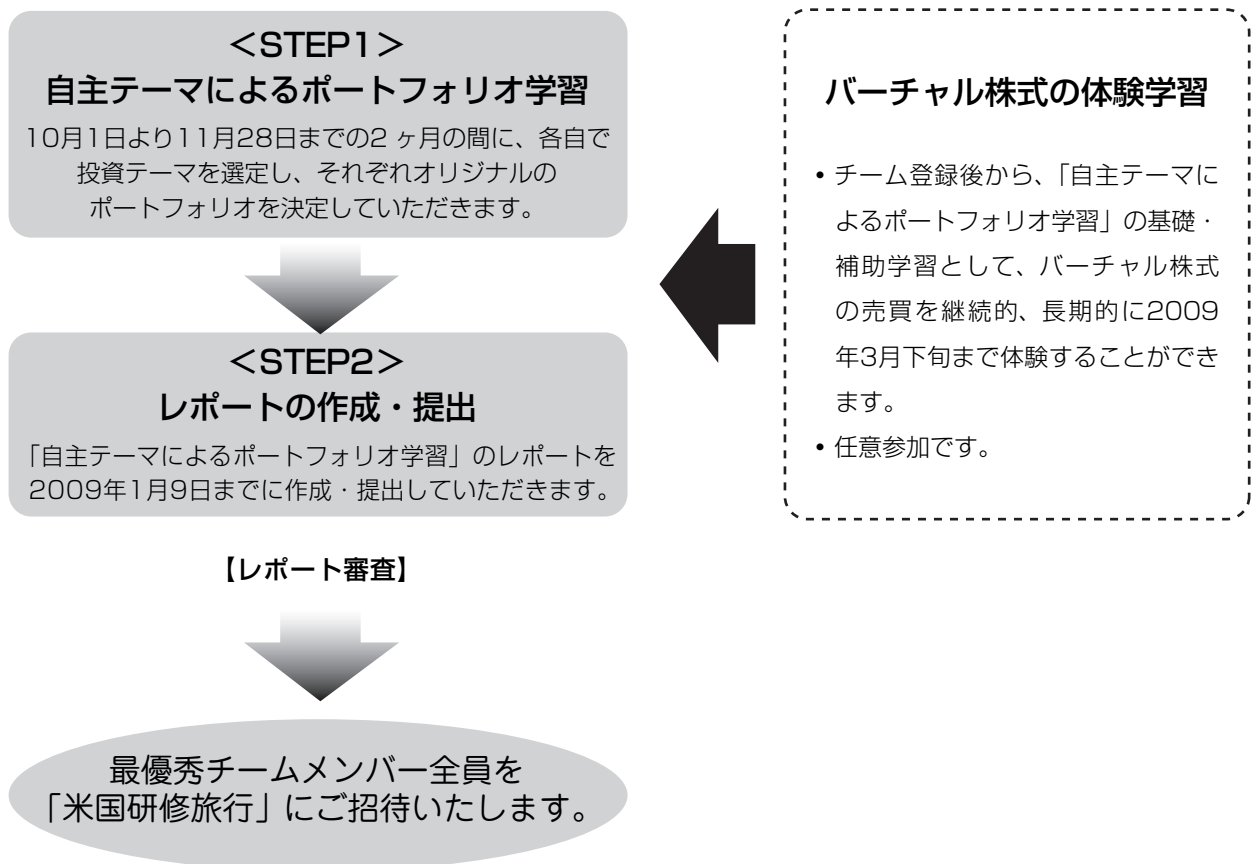
- 主 催：日本経済新聞社
- 後 援：文部科学省  
(予定) 金融庁  
日本証券業協会  
東京証券取引所  
全国公民科・社会科教育研究会  
財団法人 日本私学教育研究所  
財団法人 全国商業高等学校協会
- 特別協賛：野村グループ
- 協 賛：株式会社ジェイティービー

# 日経STOCKリーグ

## 【コンセプト】



## 【スケジュールと学習内容について】



## 中学生、高校生、大学生のための株式学習コンテスト **日経STOCKリーグ**

### ●なぜ投資教育が求められているか？

「金融ビッグバン」と呼ばれた一連の金融制度の大改革により、私たちは株式や投資信託をはじめ、さまざまな金融商品を気軽に利用できるようになりました。手軽になったとはいえ、大切な資産の運用にこれらを利用していくには、適切な知識の獲得が不可欠です。

また高齢化が進み、働く現役世代が高齢者を支えるという公的年金の仕組みも揺らぎつつあります。今後は、公的年金だけに頼るのではなく、自助努力によって老後の生活資金を確保していく姿勢が強く求められていくでしょう。

こうした中、投資に対する正しい知識を持つことは、私たちにとって欠かせなくなっています。

### ●正しい「株式投資」が、これからの日本を変えていく！

これまで、日本の学校教育の場では一般に、経済教育、特に株式投資教育はあまり重視されていませんでした。実際、今までの日本では、個人の余剰資金の運用手段としては、広く銀行預金が利用されており、「株式投資などはごく一部の人々のもの」というイメージがありました。そのため、株式投資をあたかもギャンブルの一種であるかのように誤解している人も少なくありません。

しかし本来、株式投資とは、企業の成長性に投資することです。私たちは、株式を通じて企業に資金を供給し、企業はその資金に支えられて事業を行っています。日本の多くの人々が、良い企業を見極める正しい目を持ち、適切に投資していくことは、企業のいっそうの成長を促し、結果的に、日本経済全体の成長をも導くことになるはずです。

閉塞感の漂う現在の日本にあって、このような株式投資に対する正しい知識を、新しい時代を担う世代が学んでいくことは、極めて重要であるに違いありません。

日経STOCKリーグは、このような背景を踏まえ、学校教育の場における投資学習の1つのツールとして企画された、コンテスト形式の株式投資学習プログラムです。開催当初より各方面からの多大なご評価をいただき、この度、第9回を迎えました。

「自主テーマによるポートフォリオ学習」、「レポート作成」の学習を通じて、下記のような、「株式」および「株式投資」が持つ本質的な意義を学んでいただけるようにつくられています。また、チームエントリーでの、インターネットを利用した体験学習と、レポート提出を中心としたこの学習プログラムは、学校教育の場に本格的に導入される「総合的な学習の時間」のための教材としても利用していただけるよう配慮されています。

企画趣旨をご賢察の上、より多くみなさまにご参加いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

## 「STOCKリーグ」で学ぶこと

- ①株式とは、企業の資金調達の手段の1つであること。
- ②その株式を購入することで、私たちは資金面から企業活動を支え、また企業活動に間接的に参加できること。すなわち株式投資とは、企業活動の成長性や社会性に投資することである。
- ③投資家が、「より健全な企業、成長性の高い企業を選んで投資しよう」という行動をとることで、こうした企業に資金がより多く集まることになり、いっそうの成長を促すこと。
- ④またそれは、結果的に、日本経済全体の成長を促すこと。つまり適切な株式投資を行うことは、企業の成長を促し、ひいては雇用を創出し、結果的に税収増加を導くなど、社会の経済的厚生を高めることにもなること。
- ⑤株式投資を通じて、資産を適正に運用することは、労働や租税などがそうであるのと同様、経済活動における社会的責任といえること。

## 学習内容

### STEP1 自主テーマによるポートフォリオ学習

銘柄選択と分散投資の重要性を理解していただく学習です。

- ・各チームに500万円分の仮想株式投資権が与えられます。
- ・投資していただくテーマを選定し、そのテーマに沿った複数の企業(10銘柄以上、20銘柄まで)に投資していただきます。なお、各銘柄の最低購入金額は10万円といたします。
- ・銘柄の購入は10月1日より11月28日までとし、それ以降、2009年1月31日までの2ヶ月間そのまま保有し、途中の売買はできません。
- ・銘柄の購入は、事務局発行のID及びパスワードを使って、経済学習サイトman@bow(学ぼう) <<http://manabow.com/>>よりアクセスして行って下さい。
- ・提供される学習テキスト「Stock Fantasy」「日本経済新聞」「日経会社情報」などの教材で経済・金融・株式などの基礎知識を学習しながら進めて下さい。
- ・最終の残高及び利益順位は2009年2月2日に決定いたします。

なお、自主テーマの参考例として、経済学習サイトman@bow(学ぼう)をご覧ください。  
(<http://manabow.com/> → STOCKリーグ → 結果発表と入賞レポート)



### STEP2 レポートの作成・提出

#### ○レポート課題

1. 自主テーマによるポートフォリオ学習において、なぜその投資テーマを決めたのか？なぜその銘柄を選んだのか(そのプロセスも合わせて)
2. 「個人の株式投資が社会にもたらす働き」など、STOCKリーグを通して学んだこと。

上記1と2の両方の課題を満たしたレポートを、チーム単位で提出して下さい。

#### ○レポートの体裁

- ・体裁は自由。文字量は8,000字以内であれば制限はありません。また、レポートに必要な文字以外の情報(グラフや図形など)はこれに含まれません。
  - ・副題、応募区分(中学、高校、大学)、参加チーム名(ID番号、学校名、学年、チームリーダー及びチームメンバー名、指導教諭(教官)名)、500万円の銘柄一覧は冒頭に必ず書いて下さい。
- ※これは文字量8,000字に含まれません。

○**提出方法**：出来るだけ電子メールの添付ファイル(ワード、エクセル、一太郎/横40文字程度)で事務局E-Mailアドレスにお送り下さい。

○**提出締切日**：2009年1月9日(金) 24:00

○**表彰**：提出いただいたレポートは第9回「日経STOCKリーグ・レポート審査委員会」により審査し、賞を決定いたします。  
「最優秀賞」に選ばれたチームには、チームメンバー全員を米国研修旅行にご招待いたします。  
またこの賞以外に「部門賞(中学・高校・大学)」「敢闘賞」などがあります。

学習教材として、インターネット上、また無料提供いたします下記印刷物を活用下さい。

## インターネット

**経済学習サイト「man@bow」(学ぼう!) <http://manabow.com/>**

生の経済に触れる機会がなかった(いや本当は自分の身の回りにあるものと考えたことがなかった)方々に「経済」に関する関心・興味を持ってもらうことを目的に開設したサイトです。

### 「バーチャル株式の体験学習」 チーム登録後から参加できます

- ・各チームに100万円分の仮想株式投資権が与えられます。
- ・チーム登録後から「自主テーマによるポートフォリオ学習」の基礎・補助学習として、バーチャル株式の売買を継続的、長期的に2009年3月下旬まで体験することができます。
- ・株式売買は、提供される「学習マニュアル」を参考に、事務局発行のID及びパスワードを使って、「man@bow」よりアクセスして行って下さい。
- ・任意参加です。

## 印刷物

- 1) 学習テキストブック「Stock Fantasy」-チームメンバー全員に各1冊  
\*経済、金融、株式などの仕組みや構造を分かりやすく説明した、本コンテスト用のオリジナル学習本です
- 2) 「学習マニュアル」-チームメンバー全員に各1冊  
\*インターネット上での操作について、またポートフォリオについて解説しています
- 3) 「日本経済新聞パーフェクトガイド」-1チームに1冊  
\*日本経済新聞の株式面等の読み方を分かりやすく説明した小冊子です
- 4) 「日経会社情報」-1チームに1冊
- 5) 日本経済新聞-2008年10月より12月の3ヶ月間毎日(予定)  
\*担当教諭(教官)宛に最低1部宅配いたします

# 参考資料

## 参加数

	参加チーム数								参加生徒数							
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
中学	募集せず	113	156	110	213	249	226	191	募集せず	450	583	424	850	984	895	780
高校	397	414	455	581	925	1,004	1,030	1,046	1,642	1,658	1,748	2,269	3,592	3,865	3,985	3,998
大学	226	581	655	663	779	763	809	876	962	2,365	2,649	2,700	3,135	3,102	3,313	3,625
合計	623	1,108	1,266	1,354	1,917	2,016	2,065	2,113	2,604	4,473	4,980	5,393	7,577	7,951	8,193	8,403

## 入賞校

### 【第1回】

最優秀賞	京北商業高等学校(東京都)
部門賞(中学部門)	一橋大学(東京都)
部門賞(高校部門)	該当なし
敢闘賞	福島県立あさか開成高等学校須賀川校舎(福島県) 私立城北高等学校(東京都) 奈良県立奈良商業高等学校(奈良県) 東京大学(東京都) 一橋大学(東京都)
パフォーマンス賞	埼玉県立熊谷商業高等学校(埼玉県) 慶應義塾大学(東京都)

### 【第2回】

最優秀賞	慶應義塾大学(神奈川県)(金融担当大臣賞も併せて受賞)
部門賞(中学部門)	同志社中学校(京都府)
部門賞(高校部門)	福岡県立修猷館高等学校(福岡県)
部門賞(大学部門)	釧路公立大学(北海道)
敢闘賞	香川県丸亀市立小手島中学校(香川県) 灘高等学校(兵庫県) 山陽学園高等学校(東京都) 大阪大学(大阪府) 一橋大学(東京都)
パフォーマンス賞	立命館大学(滋賀県)

### 【第3回】

最優秀賞	山陽学園高等学校(東京都)(金融担当大臣賞も併せて受賞)
部門賞(中学部門)	東筑紫学園照曜館中学校(福岡県)
部門賞(高校部門)	該当なし
部門賞(大学部門)	一橋大学(東京都)
敢闘賞	灘中学校(兵庫県) 愛媛県立宇和島東高等学校(愛媛県) 福島工業高等専門学校(福島県) 明治学園高等学校(福岡県) 神戸大学(兵庫県) 国際基督教大学(東京都) 獨協大学(埼玉県)
パフォーマンス賞	静岡産業大学(静岡県)

### 【第4回】

最優秀賞	福井県立金津高等学校(福井県)(金融担当大臣賞も併せて受賞)
部門賞(中学部門)	東筑紫学園照曜館中学校(福岡県)
部門賞(高校部門)	サレジオ学院高等学校(神奈川県)
部門賞(大学部門)	神戸大学(兵庫県)
敢闘賞	同志社中学校(京都府) 愛媛県立宇和島東高等学校(愛媛県) 福岡県立修猷館高等学校(福岡県) 神奈川県立相原高等学校(神奈川県) 東京理科大学(埼玉県) 早稲田大学(東京都) 一橋大学(東京都)

### 【第5回】

最優秀賞	同志社高等学校(京都府)(金融担当大臣賞も併せて受賞)
部門賞(中学部門)	伊奈町立小針中学校(埼玉県)
部門賞(高校部門)	奈良学園高等学校(奈良県)
部門賞(大学部門)	東京理科大学(埼玉県)
敢闘賞	同志社香里中学校(大阪府) 神奈川県立平塚商業高等学校(神奈川県) 京都市立西京高等学校(京都府) 新潟県立新潟田商業高等学校(新潟県) 神戸大学(兵庫県) 一橋大学(東京都) 関西大学(大阪府) 大阪大学(大阪府)
パフォーマンス賞	千葉県立君津商業高等学校(千葉県) 福島県西白河郡西郷村立西郷第二中学校(福島県) 横浜市立大学(神奈川県) 茨城県立大子清流高等学校(茨城県) 沖縄県立八重山商工高等学校(沖縄県)

### 【第6回】

最優秀賞	慶應義塾大学(神奈川県)(金融担当大臣賞も併せて受賞)
部門賞(中学部門)	豊島岡女子学園中学校(東京都)
部門賞(高校部門)	早稲田大学本庄高等学院(埼玉県)
部門賞(大学部門)	専修大学(神奈川県)
敢闘賞	岡山県立岡山操山中学校(岡山県) 立教池袋高等学校(東京都) 国立沼津工業高等専門学校(静岡県) 静岡県立浜松西高等学校(静岡県) 学習院女子高等科(東京都) 慶應義塾大学(東京都) 東京経済大学(東京都) 一橋大学(東京都)
審査委員奨励賞	神奈川県立相原高等学校(神奈川県)
パフォーマンス賞	兵庫県立加古川東高等学校(兵庫県) 香川県立観音寺中央高等学校(香川県) 新潟県立長岡商業高等学校(新潟県) 関西学院中学部(兵庫県) 駒澤大学(東京都)

### 【第7回】

最優秀賞	大分県立情報科学高等学校(大分県)(金融担当大臣賞も併せて受賞)
部門賞(中学部門)	筑波大学附属駒場中学校(東京都)
部門賞(高校部門)	早稲田大学本庄高等学院(埼玉県)
部門賞(大学部門)	一橋大学(東京都)
敢闘賞	鹿児島大学教育学部附属中学校(鹿児島県) 群馬県立高崎商業高等学校(群馬県) 立教池袋高等学校(東京都) 慶應義塾大学(東京都) 慶應義塾大学(東京都) 一橋大学(東京都)
審査委員奨励賞	開成高等学校(東京都) 横浜市立大学(神奈川県)
パフォーマンス賞	山梨学院大学(山梨県) 東京都立富士森高等学校(東京都) 専門学校禅林学園(香川県) 香川県立観音寺中央高等学校(香川県) 静岡県立沼津商業高等学校(静岡県)

### 【第8回】

最優秀賞	筑波大学附属駒場高等学校(東京都)(金融担当大臣賞も併せて受賞)
部門賞(中学部門)	武蔵中学校(東京都)
部門賞(高校部門)	早稲田大学本庄高等学院(埼玉県)
部門賞(大学部門)	一橋大学(東京都)
敢闘賞	鹿児島大学教育学部附属中学校(鹿児島県) 秋田市立秋田商業高等学校(秋田県) 横浜市立大学(神奈川県) 大阪市立大学(大阪府) 中央大学(東京都)
パフォーマンス賞	静岡県立富士高等学校(静岡県) 昭和大学(山梨県) 共栄大学(埼玉県) 県立新潟商業高等学校(新潟県) 昭和大学(山梨県)

## 応募概要

- **内 容** 中学生、高校生、大学生を対象にした、「自主テーマによるポートフォリオ学習」及び「レポートコンテスト」
  - ① 「自主テーマによるポートフォリオ学習」は2008年10月1日より11月28日まで
  - ② 「レポートコンテスト」の締切は2009年1月9日(金)です
  - \* 「バーチャル株式の体験学習」はチーム登録後より2009年3月下旬まで(任意参加)
- **参加資格** 国内在住の中学生、高校生、大学生(短期大学生、専門学校・各種学校生含む)
  - \* 1チーム3～5名(厳守)とし、チーム単位で申し込んで下さい。
  - 同じ学校内であれば、チーム編成はクラス、クラブ、ゼミなど自由です。
  - \* なお、ご参加いただく際は必ずご指導いただく教諭(教官)をお付け下さい。
  - 指導教諭(教官)1名につき何チームでもご参加いただけます。
- **参加申込方法** <http://manabow.com/>より参加申し込みをして下さい。  
他の方法(電話、FAX等)での参加申込はお受けできませんので、予めご了承下さい。
- **説 明 会** ご指導いただく教諭(教官)向けに、7月下旬に説明会を開催する予定です(東京及び大阪)。出席可能な方はぜひご参加下さい。  
説明会では、前回参加したチームの学習風景をビデオで紹介、PCを使ってバーチャル株式の売買方法の説明、学習指導方法など、学習の手助けになるような内容を予定しています。
- **賞**
  - 最優秀賞(全参加チームより1チーム)  
チームメンバー全員を米国研修旅行にご招待(2009年3月下旬を予定)
  - 部門賞(中学、高校、大学部門より各1チーム、計3チーム)  
〔中学部門〕 ユニバーサル・スタジオ・ジャパンまたは東京ディズニーリゾートにチームメンバー全員をご招待(1泊2日)  
〔高校・大学部門〕 賞金20万円
  - 敢闘賞(中学、高校、大学部門より数チーム)  
〔中学部門〕 図書券5万円分  
〔高校・大学部門〕 賞金5万円
  - \* なお、レポートを提出したチームの中で、「自主テーマによるポートフォリオ学習」の2月2日の残高で上位5チームに対し、「パフォーマンス賞」(賞金3万円)を差し上げます。  
(ただし、提出されたレポート内容が著しく劣ると審査会で判断されたチームは該当いたしません)
  - \* また、「自主テーマによるポートフォリオ学習」に参加し、レポートを提出したチームに「参加賞状」を差し上げます。
- **入賞チーム発表** 2009年2月下旬(予定)
  - \* 入賞チームに書面にて通知致します。
  - \* 「表彰式&記念シンポジウム」にて最優秀賞、部門賞、敢闘賞チームの表彰を行いますので、入賞したチームは必ず表彰式にご出席下さい。(交通費は支給いたします)
- **表彰式および記念シンポジウム**
  - 開催日：2009年3月14日(土) \* 予定
  - 会 場：東京都内(会場未定)

※入賞校、入賞者名は日本経済新聞紙上に紹介される予定です。

4月下旬放送予定の、BSジャパン及び日経CNBCでの特別番組においても、入賞校、入賞者名の紹介を予定しています。

また、インターネット上のman@bowに入賞チームのレポート掲載を予定しています。

## スケジュール (予定)

- 2008年 4月 21日(月) 経済学習サイト「man@bow」(<http://manabow.com/>)で  
登録受付開始  
参加チームに対し、逐次ID / パスワードを連絡  
事前学習「バーチャル株式の体験学習」スタート(任意参加)  
(チーム登録後から2009年3月下旬まで体験可能)
- 6月 30日(月) 第1次参加申込み締切
- 7月 上旬 参加チームに対し、学習教材(Stock Fantasy、学習マニュアル等)  
を発送
- 7月 下旬 東京及び大阪にて説明会開催(予定)
- 9月 6日(土) 第2次参加申込み締切
- 10月 1日(水) 「自主テーマによるポートフォリオ学習」スタート(2ヶ月間)  
1日(水) 日本経済新聞の宅配開始(10/1—12/31までの3ヶ月間) \* 予定
- 11月 28日(金) 「自主テーマによるポートフォリオ学習」終了
- 12月 1日(月) 2ヶ月間の「ポートフォリオ運用」スタート
- 2009年 1月 9日(金) レポート提出締切日
- 2月 2日(月) 「ポートフォリオ運用」結果集計  
下旬 審査委員会開催→入賞チーム決定 (予定)
- 3月 14日(土) 表彰式&記念シンポジウム開催 (予定)  
下旬 最優秀チームの米国研修旅行 (予定)  
下旬 事前学習「バーチャル株式の体験学習」終了

ご登録は・・・

<http://manabow.com/>

第1次締切：6月30日(月)

第1回～8回 日経STOCKリーグの結果につきましては、  
[man@bow](http://manabow.com/)(<http://manabow.com/>)をご覧ください。

### ●問い合わせ先●

「日経STOCKリーグ」事務局

〒104-0061 東京都中央区銀座2-16-16 GINSENビル6F

TEL.03-3545-9823 FAX.03-3545-6993

E-mail:stockleague@info.email.ne.jp